

安倍内閣の暴走政治に立ち向かう力をもっと大きく

日本共産党をのばしてください。

滝口 隆一



「国民の声を聞かない」、暴走する安倍政治。平和も暮らしも大変です。こういう時こそ、地方からも国や県にしつかり“もの言う”議員が必要です。

日本共産党は市民と野党の協力を何よりも大事にしています。参院選では32ある一人区ですべて野党統一候補が実現し、11選挙区で自公勢力を打ち負かしました。「私たちが政治を変える」が若者の間でも大きく広がりました。ごいっしょに、希望の持てる政治をつくりましょう。



さらなる活躍に期待します。



来栖 享
(栄)

地元に役立つ議席、何としても確保しなければ。試されずのみの政治家滝口隆一さんをよろしく。



横山和夫
(上ノ室)

原発ゼロ、消費税増税中止。今、水道料金値上げストップの署名を取り組んでいます。共産党の滝口さんにがんばってほしい。



武部秀嗣
(春風台)

滝口さんがいらしたから「総合運動公園」を阻止できたのです。滝口さんは市議会になくてはならない存在です。



飯塚修三
(大穂・篠崎)

仕事がなくなって若い人がかわいそうです。若い人が希望をもって働く社会をめざして頑張ってください。



恵田三郎
(遠東)

まるで詐欺。そんな政治がやられている。共産党の滝口さんにがんばってほしい。ご活躍に期待しています。



武守ひろみ
(北条)

竜巻の時、真っ先に駆けつけてくれたのが、共産党の議員さんたちでした。筑波山の自然を生かす、街づくり(街おこし)を願っています。



筑波の百姓
酒寄 基男
(国松)

青々とした植物と生きていくのは最高の楽しみ。厄介なのは草との闘い。いやもつと大変なのは自民党の農政との闘いだ。

青木道子
(谷田部)

「TPPは中止に」が農業関係者の願い。農業者の心がわかる、皆さんと一緒に頑張る、滝口さん。精一杯応援します。

市民の立場でスジとおし、党派をこえた共同広げる
日本共産党の大黒柱

今こそ

住民の声を生かす市政を

日本共産党
滝口 隆一
市議会議員

プロフィール
●1948年生まれ。土浦一高・法政大卒
●土浦信用金庫勤務 ●旧桜村議、つくば市議(通算8期)
●家族は妻、娘2人 ●栄在住 電話/Fax(857)4818

新しいつくば
2016年号外

日本共産党の見解を紹介します。
発行：日本共産党つくば市委員会 つくば市上ノ室 363-7 ☎029-863-0045
<http://www.jcp298.net> e-mail:tsukuba.jcp@nifty.com



こいつしょに、もっと住みよいつくば市を

「市民が動けば、政治は必ず変わる」——総合運動公園建設中止の運動を通じて、私が最も実感していることです。この力を生かして、もっと住みよいつくば市をつくるために、これからもみなさんと力をあわせてていきます。

共同ひろげ
「総合運動公園」
計画を撤回

市民と野党会派の共同を大切にして奮闘している
滝口隆一さんを心から応援します

元学研労協議長・元森林総研部長 山本千秋

■一足先につくば市で

2015年、安倍暴走政権による安保関連法の強行採決に反対する国民的大運動に。これより先に、つくば市では「総合運動公園」計画が大問題に…。「税金の使い方が間違っている」「横暴な市政運営をやめ市民の声を聞け」と市民の間に運動が大きくひろがりました。

■滝口市議の先見の明

366億円の「総合運動公園基本構想」が公表された2014年3月頃、滝口さんは、「こんな構想を強引に推し進めれば、市長の首が飛ぶことにもなりかねない」と指摘していました。13年9月の定例議会では、運動公園整備のために基金を積み立てる条例案に、共産党の3議員だけが反対しました。

共産党市議団は、「運動公園」問題を一刻も早く市民にと、共産党の



住民投票で反対に○「市民集会」 2015.7.26

子どもの医療費助成制度を 中学卒業まで拡大しました

1980年代から、お母さんたちと運動をすすめ、対象年齢を一步一步ひろげてきました。



市民と野党会派の共同を大切にして奮闘している
滝口隆一さんを心から応援します

元学研労協議長・元森林総研部長 山本千秋

暮らし第一の市政

つくバス・つくタク もっと便利に

つくバスはコース増設。老人福祉センター行きをつくる。つくタクは、どの病院にも行けるように。

医療費は高卒まで無料に 窓口負担もなくしましょう

県内でも常総市などは、医療費の助成を高卒まで拡大しています。子育ての経済的な負担を軽くします。

水道料値上計画の撤回を 国保料、介護保険の負担軽減を

市は水道料の平均32%の値上げを計画しています。年金が削減され、国保料や介護保険の負担も重くのしかかる中で、さらなる負担増は許せません。署名運動もすすめています。

TX沿線開発地区に 県立高校の新設を

人口急増するTX沿線地区。今から先を見通し、県立高校新設に向け、茨城県と協議を開始するよう求めます。

市民交流センターなど公共施設も必要です。

東海第二原発は再稼働せず廃炉に



日本共産党
滝口隆一